

地域密着型金融推進計画

(平成27年度の取り組み状況について)

水沢信用金庫

地域密着型金融の取り組み状況(平成27年度)

項目・具体的取組策	平成27年度取り組み状況
1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮	
(1)創業・新事業開拓を目指す企業への支援	
<ul style="list-style-type: none"> ①創業・新事業支援融資の推進 ②認定経営革新等支援機関として創業補助金申請に対する助言等支援の強化 ③創業支援セミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業、新事業展開事業者の資金需要に対し資金提供を図りました。 実績 奥州市制度資金(開業資金) 4件 28百万円 その他 7件 111百万円 ・平成26年度に続き、奥州市と共催で第3回目の創業希望者向けの『創業支援セミナー・個別相談会』を開催いたしました。 ・よろず支援拠点出張相談会開催により、創業希望者5件の相談に対応し、4先が創業することができました。
(2)成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援	
<ul style="list-style-type: none"> ①動産・債権担保融資(ABL)の活用 ②保証人に依存しない融資取組みの推進 ③ビジネスマッチングによる企業支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・信用保証協会の制度融資を活用し、動産担保融資1件に取組みました。 ・保証人に依存しない融資への取組みについては、信用保証協会付融資、無担保無保証の当庫融資商品「ニュービジネスローン」の推進を図りました。 実績 信用保証協会付融資 437件 4,177百万円 ニュービジネスローン 9件 18百万円 ・東北地区信用金庫協会等主催の「ビジネスマッチ東北2015」に出展した6社、城南信用金庫主催の「よい仕事おこしフェア」に出展した1社、のべ7社の商談をサポートいたしました。
(3)経営改善が必要な企業への支援	
<ul style="list-style-type: none"> ①経営改善計画書の策定支援 ②経営支援先に対する定期的な面談による進捗状況の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援先として19先の企業を選定し、経営改善の支援を行いました。 ・条件変更を行った先の内、重点管理先88先(平成27年度期首時点、経営支援先16先含む)を選定し、企業支援課と営業店がアフターフォローに取組みました。 ・認定支援機関として2件のものづくり補助金申請支援を行い、内1件が採択されました。 ・中小企業再生支援協議会を利用して2先の経営改善計画策定支援を行い、既に計画策定が完了した先も含め、8先について金融機関連絡会議を開催いたしました。 ・TKC東北会及びコンサルタント会社と連携し、認定支援機関による経営改善計画策定支援事業を5先について取組み、内2先について計画を策定いたしました。 ・岩手県よろず支援拠点と連携し、出張相談会を開催し、32先41件の相談にワンストップにて対応致しました。
(4)事業承継が必要な企業への支援	
<ul style="list-style-type: none"> ①事業承継をバックアップする人材の育成 ②事業引き継ぎ支援センター、M&A仲介会社との連携によるM&Aマッチングの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県に事業引継ぎ支援センターが開設され、民間支援機関として登録致しました。 ・職員のスキル向上の為に相続・事業承継セミナーを開催いたしました。
2. 地域の面的再生への積極的な参画	
(1)地域経済の活性化に向けたプロジェクトへの参画	
<ul style="list-style-type: none"> 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における「地方版総合戦略」の策定への参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・奥州市および金ケ崎町の「地方創生総合戦略策定委員会」のメンバーとして策定に関わりました。 平成28年3月、奥州市、金ケ崎町ともに計画が決定しました。 ・「地方版総合戦略」の推進に積極的に協力することを目的に「地方創生推進委員会」を設置しました。 平成27年度の開催は4回。主な議題は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・奥州市と金ケ崎町の策定進捗状況について ・奥州市および金ケ崎町との「地方創生にかかる包括連携協定」の締結について ・金ケ崎町の「ふるさと納税」に係る支援について ・各金融機関の取組みについて ・地域経済分析研修の派遣について ・信金中央金庫主催の地方創生に資する信用金庫営業エリア(地方自治体)を対象とした地域経済分析研修に2名参加。
(2)地域を担う若い世代への金融知識の普及	
<ul style="list-style-type: none"> ①小中学生に対する金融教育の実施 ②地元高校生を中心としたインターンシップの受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・奥州市内の小学5、6年生200名を対象とした奥州商工会議所青年部主催の職場体験学習事業「キッズワーカーズin奥州」に協力しました。 ・水沢南中学校の1年生205名のうち、53名を対象とした「生き方講演会」に協力しました。 ・東水沢中学校の1年生145名を対象に講演会を実施いたしました。 ・「就業体験学習」として水沢商業高校生5名、水沢中学校の生徒2名をインターンシップとして受け入れました。

地域密着型金融の取り組み状況(平成27年度)

項目・具体的取組策		平成27年度取り組み状況
3. 地域やお客様に対する積極的な情報発信		
(1)地域密着型金融に関する取組みの情報発信		
	地域密着型金融の取組み状況の公表	<ul style="list-style-type: none"> ・27年度の取組みについて、店頭やホームページならびにディスクロージャー誌により公表いたしました。 ・前年度に引き続き、全てのお客様にわかり易い内容とした「ミニディスクロージャー誌」を発行いたしました。
(2)地域の活性化につながる情報発信		
	地域経済への多様な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌に「金融犯罪・振り込み詐欺防止」に係る情報を掲載しました。 ・信金中央金庫の景気動向調査により、地元企業へのアンケートを実施。景気動向を調査、分析した還元資料を配布し情報提供を行いました。